

チューリップサビダニのニンニク茎葉での寄生部位の推移と防除法

野菜研究所

チューリップサビダニは、ニンニクリン片を加害し品質低下をもたらすだけでなく、病原ウイルスを媒介することから、防除が不可欠な重要害虫です。これまで不明であったニンニク茎葉でのチューリップサビダニの寄生部位の推移を明らかにし、新たな防除法としてモベントフロアブルの生育期茎葉散布を検討したところ、高い防除効果が確認されました。

チューリップサビダニのニンニク茎葉での寄生部位の推移

- ◆ 種子りん片から移動したチューリップサビダニは葉身に寄生し(右図①)、ニンニクの生育が進むにつれ、5月中旬頃には葉身基部に到達(右図②)、5月下旬頃には葉鞘内部へ侵入し(右図③)、以降、葉鞘の隙間をりん球へと下降していくことが分かりました。



モベントフロアブルによる防除法

- ◆ 収穫予定日の 4～5 週間前(1回目散布)と 2～3 週間前(2回目散布)の計 2 回、本剤 4,000 倍液を 10a 当たり 200～300 ℓ 散布します。

4月		5月			6月		
中	下	上	中	下	上	中	下
				5/21~5/28	6/4~6/11		6/25
				↔	↔		① 収穫
				1回目散布 (収穫4~5W前)	2回目散布 (収穫2~3W前)		

チューリップサビダニに対するモベントフロアブルの防除効果

(平成28、29年 野菜研究所)

供試薬剤	希釈 倍数	平成28年				平成29年			
		調査 球数	寄生 球数	寄生球 率(%)	寄生 虫数	調査 球数	寄生 球数	寄生球 率(%)	寄生 虫数
モベントフロアブル	4,000倍	60	0	0	0	60	1	1.7	2
無処理	-	60	6	10.0	3,738	60	55	91.7	30,932

注) 散布月日 平成28年：5月25日及び6月8日、平成29年：5月29日及び6月12日

利用上の注意点

- ◆ アグリマイシン 100 と混用する場合は、モベントフロアブルを先に溶かしてからアグリマイシン100を混用してください。

お問い合わせ 野菜研究所 病虫部 (Tel 0176-53-7171)